

鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
平成29年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議による検証結果

区 分	1 しごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 まちの魅力を「みがく」		4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」		合 計 (重点戦略を含む)	参 考 (28年度分)
			うち重点戦略		うち重点戦略			
A 引き続き、現状の取組を推進すべき	7	7	5	1	9	4	28	30
B 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善すべき	2	2	2		2		8	6
C 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべき							0	0
合 計	9	9	7	1	11	4	36	36

(参考) KPI の状況

区 分	1 しごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 まちの魅力を「みがく」		4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」		合 計 (重点戦略を含む)	参 考 (28年度分)
			うち重点戦略		うち重点戦略			
a 十分に達成されている	7	6	4	1	5	3	22	17
b 概ね達成されている		1	1		4	1	6	4
c あまり達成されていない	2	2	2		2		8	14
合 計	9	9	7	1	11	4	36	36

※29年度からの取組であるため評価対象外とした1件を含む

# 平成29年度実績に係る「検証会議の意見」

<p>&lt;概要&gt;  <b>(1) KPIの評価</b>                  a : 予定どおり(又はそれ以上に)、十分に達成されている                  b : 予定の一部が実施できなかったが、概ね達成されている                  c : 予定を大幅に変更するなど、あまり達成されていない</p>	<p><b>(2) 検証会議の意見</b>                  A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである                  B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある                  C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
--	---

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
1	1 しごとで活 力を「つくる」	(1) 地域産業の競争力強化 (業種横断的取組)  ① 新事業・新産業創出の支 援	新たなビジネス展開に取り組 む事業者数  本市の補助金を活用した新た なビジネス展開の事業化率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>事業者 (5年間)</td> <td>64</td> <td>128.0%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>36</td> <td>%</td> <td>50</td> <td>58.3%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	8	事業者 (5年間)	64	128.0%	a	(H28)	36	%	50	58.3%	KPIの進捗については、「新たなビジネス展開 に取り組む事業者数」は、27年度21者、28年度 15者、29年度28者で、目標値(50者)を超えた。 また、29年度に新たに追加した「本市の補助金 を活用した新たなビジネス展開の事業化率」は 50%であり、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、クリエイティブ産 業の育成支援に取り組むほか、オープンデータ については、本市ホームページにおいて公開し ている公共施設の位置情報等のデータ数を拡 充するとともに、市民のひろば等での広報周知 に努めた。	専門家による事業化支援や、産学連携のため のマッチング支援、クリエイティブ産業の育成支 援や事業化された取組のPR等を引き続き進め ていく。 オープンデータについては、公開するデータの 充実を図るとともに、周知広報に努める。 なお、KPI「新たなビジネス展開に取り組む事 業者数」については目標値を達成していること から、目標値の上方修正を検討する。	KPIについては、新事業・新産業創出の支援に 向けて、十分に達成されている。引き続き、現状 の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①補助金を 活用して事業化に至った後のフォローアップを 行い、より実効性のある施策にしていきたい。 また、②KPI「新たなビジネス展開に取り組む 事業者数」については、実績値が目標値を上 回っているため、目標値の上方修正を検討して いきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																				
(H26)	8	事業者 (5年間)	64	128.0%	a																				
(H28)	36	%	50	58.3%																					
2	1 しごとで活 力を「つくる」	(1) 地域産業の競争力強化 (業種横断的取組)  ② 経営改善の支援	産業振興、創業支援、新事業 展開支援資金の利用件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>1,317</td> <td>件</td> <td>1,414</td> <td>104.7%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	1,317	件	1,414	104.7%	a	KPIの進捗については、29年度の対象資金の 利用件数は1,414件で、目標値(毎年度1,350件) を超え、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、各資金の融資利 率を引き下げるとともに創業支援資金の自己資 金要件の廃止や融資対象者の拡大を行ったほ か、創業スキル関連講座、事業承継セミナーを 開催するなど、事業者等に対する支援を充実さ せた。	30年度は、より円滑な資金調達を支援するた め、創業支援資金の融資限度額の引き上げや 女性・若者(30歳未満)・シニア(55歳以上)に 対する保証料補助の拡大などを行う。 今後も引き続き、事業者が利用しやすい制度 の設計や周知広報に努めるとともに、事業承継 セミナーを開催するなど、事業者等に対する支 援に取り組む。	KPIについては、経営改善の支援に向けて、 十分に達成されている。引き続き、現状の取組 を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①民間金融 機関との連携のもと、企業とのマッチングがス ムーズに進められるよう、周知広報に努めてい たい。	A					
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																				
(H26)	1,317	件	1,414	104.7%	a																				
3	1 しごとで活 力を「つくる」	(1) 地域産業の競争力強化 (業種横断的取組)  ③ 人材の確保	首都圏等からのクリエイティ ブ人材の移住者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>40</td> <td>人 (4年間)</td> <td>11</td> <td>27.5%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> </tbody> </table>		基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	-	40	人 (4年間)	11	27.5%	c	KPIの進捗については、28年度7人、29年度4 人で、単年度あたりの目標値(10人)を下回っ ており、あまり達成されていない。 29年度の取組状況としては、本市ゆかりのク リエイターの人脈などを活用し、戦略的な情報 発信を行うとともに、UIターンイベントやお試 し移住の実施、移住補助金の交付などにおいて、 本市独自の取組を行い、クリエイティブ人材の 誘致に取り組んだ。 また、県外の合同企業説明会への参加に対 する助成を通じて、中小企業の人材確保の支 援を行ったほか、産学官連携による会議を開催 し、若者の地元定着等に向けた取組の推進を 図った。	引き続き、戦略的な情報発信を行うとともに、 UIターンイベントやお試し移住などを実施する ほか、補助対象者を拡大するなど、クリエイティ ブ人材の誘致やUIターン人材の確保支援に取 り組む。 また、産学官連携による会議を開催し、若者 の地元定着等の推進に取り組むほか、ハロー ワークなど関係機関とも連携を図りながら、人 材不足分野の人材確保に資する取組について も検討していく。	KPIについては、情報発信などの取組が移住 につながらず、人材の確保に向けて、あまり達 成されていない。全般的には推進すべきだが、 取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①移住者へのきめ 細かなフォローアップなど新たな視点での取組 を検討するとともに、②若者の地元定着につ いて、高校生や大学生などに対する具体的な取 組を産学官で検討し、実施すべきである。	B				
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																				
-	40	人 (4年間)	11	27.5%	c																				

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
4	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化 (分野別取組)  ①商業・サービス業の活性化	空き店舗等の再生などによる 新規就業者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>40</td> <td>人 (4年間)</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	—	40	人 (4年間)	0	0.0%	c	<p>KPIの進捗については、28年度0人、29年度0人であり、あまり達成されていない。29年度の取組状況としては、商業・サービス業のさらなる活性化を図るため、商店街等に対して各種支援を行った。また、空き店舗等の再生を担う人材を育成するため、リノベーションスクールを開催した。</p> <p>引き続き、商店街等への各種支援やリノベーションスクールの開催により、商業・サービス業の活性化や空き店舗等の再生を担う人材の育成を推進する。 また、30年度から新たに、創業者と空き店舗のマッチングにより空き店舗の解消を図る創業者テナントマッチング事業を開始しており、新規就業者の増を目指す。</p>	<p>KPIについては、リノベーションなどによる空き店舗等の再生の成果が短期的には見えにくいことから、商業・サービス業の活性化に向けて、達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①リノベーションスクール等を定期的に開催し、空き店舗等の再生を担う人材と物件のオーナーを増やす取組に努めるとともに、②空き店舗等の解消につながる効果的な取組も実施すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)														
—	40	人 (4年間)	0	0.0%	c														
5	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化 (分野別取組)  ②ものづくり産業の活性化	本市の事業活用による商談 成約件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11</td> <td>255 件 (5年間)</td> <td>143</td> <td>56.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	11	255 件 (5年間)	143	56.1%	a	<p>KPIの進捗については、27年度48件、28年度54件、29年度41件で、販路拡大につながっており、順調に推移している。29年度の取組状況としては、国内外の展示会への出展経費等に助成するとともに、各種アドバイザーを派遣し、経営力や販路拡大などに関する指導等を行い、着実に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、本市中小企業者等への積極的な周知・広報を実施し、国内外での展示会出展を検討している企業の後押しを行う。</p>	<p>KPIについては、ものづくり産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①アドバイザー派遣による指導を継続し、成約件数の向上に努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)														
(H26)	11	255 件 (5年間)	143	56.1%	a														
6	1 しごとで活 力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化 (分野別取組)  ③農林水産業の活性化	本市支援による新規就農者 数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>5</td> <td>25 人 (5年間)</td> <td>21</td> <td>84.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	5	25 人 (5年間)	21	84.0%	a	<p>KPIの進捗については、27年度5人、28年度8人、29年度8人で、単年度あたりの目標値(5人)に対し、順調に推移している。29年度の取組状況としては、新商品開発等に支援し、新たな加工品づくりを促進するとともに、就農相談や技術習得に対する支援のほか、農業次世代人材投資資金の交付により、青年就農者の経営安定に努めた。</p> <p>引き続き、6次産業化に取り組む意欲がある生産者を支援し、6次産業化を促進する。 また、本市の農林水産物等のPRを生産者団体等と連携して県内外で行い、販路の拡大を行う。 技術習得のために、市民農業塾など研修制度の充実や指導農業士等の先輩農家から指導を受けられる機会の設定に努め、関係機関と連携し、新規就農者等の確保・育成に取り組む。また、新規就農者が定着できるように引き続き現状把握等に努め、助言・指導を行う。</p>	<p>KPIについては、農林水産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①新規就農者の定着のため、流通・販路開拓のサポートを充実させるとともに、②他都市での成功事例の横展開や新産業創出との連携を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)														
(H26)	5	25 人 (5年間)	21	84.0%	a														
7	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする 雇用機会の拡大  ①創業・第二創業への支援	本市支援による新規創業者 数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>36</td> <td>180 者 (5年間)</td> <td>109</td> <td>60.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	36	180 者 (5年間)	109	60.6%	a	<p>KPIの進捗については、27年度32者、28年度45者、29年度32者で、単年度あたりの目標値(36者)に対し、順調に推移している。29年度の取組状況は、創業スキル関連講座等の開催を通じて新規創業への支援を着実に推進しているとともに、ソフトプラザかごしまをクリエイティブ産業創出拠点として整備するため、建築・設備設計を行った。</p> <p>ソフトプラザかごしまをクリエイティブ産業創出拠点として整備するとともに、各種セミナーを実施し、創業支援に努める。 また、創業後の状況の追跡調査については、アンケート調査の実施など、引き続き対応を検討する。</p>	<p>KPIについては、創業・第二創業への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①創業後のフォローアップを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)														
(H26)	36	180 者 (5年間)	109	60.6%	a														

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
8	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする 雇用機会の拡大  ②企業立地の推進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>7</td> <td>35 件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26)	7	35 件 (5年間)	企業立地件数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>54.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	19	54.3%	a	KPIの進捗については、27年度5件、28年度9件、29年度5件で、単年度あたりの目標値(7件)に対し、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、企業立地係の設置による体制強化(28年度)を受け、首都圏における展示会へのブース出展や企業立地促進補助金について、連携中枢都市圏4市における新規雇用者要件の緩和、補助制度のPR、市内企業に対する訪問の強化など、企業立地を推進する活動を積極的に行った。	30年度は、健康産業等成長分野及びコールセンター等の企業立地アンケート調査を実施する。 今後も引き続き、積極的な企業訪問を行うとともに、補助制度や、都市の魅力など本市の強みをPRするなど、企業立地のさらなる推進に向けた取組を進める。	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①積極的な企業訪問を継続するとともに、②連携中枢都市圏としての取組も検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26)	7	35 件 (5年間)																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
19	54.3%	a																	
9	1 しごとで活 力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする 雇用機会の拡大  ③若者、女性、高齢者等の活躍促進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>426</td> <td>2,100 人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26)	426	2,100 人 (5年間)	本市の助成金を活用して雇用される人数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,145</td> <td>54.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	1,145	54.5%	a	KPIの進捗については、27年度437人、28年度315人、29年度393人で、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、女性活躍アドバイザーを配置し、女性が個性と能力を十分に発揮できる環境づくりに取り組むとともに、女性を対象とした職場見学会等の実施により、女性の再就職支援を図った。 また、シルバー人材センターの会員数が3,241人で過去最高となるなど、高齢者の就労機会の拡大が図られた。	引き続き、助成金の周知広報に努めるとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。 また、30年度から新たに経営者・管理職向けのセミナーや女性管理職を育成、応援するセミナーを実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、健康福祉局等の関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の活躍促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①女性の雇用拡大については、保育所や児童クラブなど保育環境の拡充にも配慮しながら進めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26)	426	2,100 人 (5年間)																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
1,145	54.5%	a																	

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ①若者の就業支援  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 134</td> <td>700</td> <td>人(5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	(H26) 134	700	人(5年間)	トライアル雇用支援金を活用して雇用される若年者等の人数  <table border="1"> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> <tr> <td>306</td> <td>43.7%</td> <td>b</td> </tr> </table>	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	306	43.7%	b	KPIの進捗については、概ね順調に推移しているが、雇用環境の改善に伴い、実績としては減少傾向にある。 29年度の取組状況としては、トライアル雇用終了後も継続雇用している事業主に対して支援金の支給を行ったほか、ものづくり分野における事業所とのマッチング支援や高校生を対象とした就職セミナー、学生等を対象とした起業セミナーの開催など、若者の就業支援、起業支援に着実に取り組んでいる。	引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組むとともに、トライアル雇用支援金については、直近の雇用情勢や国の助成金の動向も踏まえながら、広報周知等を通じて利用促進に努める。 また、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等で勤労観・職業観の醸成等を図るとともに、職場定着に関する国の助成金の広報に努めるなど、職場定着についても関係機関と連携した取組を進めていく。	KPIについては、若者の就業支援に向けて、概ね達成されている。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①若者の職場定着の状況把握に努めるとともに、②引き続き、勤労観・職業観の醸成に取り組むべきである。	B
基準値	目標値(H31)	単位																	
(H26) 134	700	人(5年間)																	
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																	
306	43.7%	b																	
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ②貧困の世代間連鎖の解消  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>65</td> <td>人(5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	—	65	人(5年間)	就労支援した若者等の就職者数  <table border="1"> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> <tr> <td>112</td> <td>172.3%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	112	172.3%	a	KPIの進捗については、「生活・就労支援センターかごしま」の開設によりワンストップによる就労支援体制が整い、29年度までに就労支援した若者の就職者数が目標値を超え、順調に推移している。 生活困窮世帯・ひとり親家庭等の中学生への学習支援(学習会)は、大学生や教員OB等と協力して実施した。母子家庭等自立支援事業では、医療事務講座の増設により、多くの方に技術習得の機会を提供した。 また、29年度に子どもの生活に関するアンケート調査を行い、子どもの貧困対策を進めるうえでの実態把握及び基礎資料となる結果を取りまとめた。	「生活・就労支援センターかごしま」や関連施策の広報・周知をさらに進め、就労支援者の増を図り、順調に就職者数が伸びていることから、目標値の上方修正を検討する。学習支援については、実施方法等について、引き続き関係機関と連携し検討を行う。 また、子どもの生活に関するアンケート調査の結果を踏まえ、現在、庁内の関係機関と連携しながら、今後の取組を検討しているところである。	KPIについては、貧困の世代間連鎖の解消に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①アンケート調査等による子どもの生活状況の把握や分析、施策への反映に引き続き努めていただきたい。 また、②KPIについては、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。	A
基準値	目標値(H31)	単位																	
—	65	人(5年間)																	
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																	
112	172.3%	a																	
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ①次世代を担う若者への意識啓発  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>1,600</td> <td>人(4年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	—	1,600	人(4年間)	ライフデザインセミナー参加者数  <table border="1"> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> <tr> <td>1,204</td> <td>75.3%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	1,204	75.3%	a	KPIの進捗については、目標値のライフデザインセミナー参加者数が、1年あたりの平均400人を超えており、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、ライフデザインセミナー事業及び挙式プロデュース事業を、大学・高校・企業等と連携して実施した。	引き続きライフデザインセミナー事業・挙式プロデュース事業を推進し、より多くの若者への意識啓発に努め、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。	KPIについては、次世代を担う若者への意識啓発に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①新社会人を含め、若年層が参加しやすいような取組に努めるとともに、②セミナー等参加者の結婚、妊娠、出産、子育てに対する意識変化にも着目して取組を進めていただきたい。	A
基準値	目標値(H31)	単位																	
—	1,600	人(4年間)																	
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																	
1,204	75.3%	a																	
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ②結婚への支援  <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>90</td> <td>%</td> </tr> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	—	90	%	婚活事業への参加者の満足度  <table border="1"> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> <tr> <td>91.9</td> <td>102.1%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	91.9	102.1%	a	KPIの進捗については、参加者の満足度が91.9%であり、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、引き続き出会い・ふれあい企業対抗運動会で多くの参加者に出会いの場を提供するとともに、結婚相談所は周知広報等により、登録者を増やしている。また、新婚世帯等向けに、市営住宅の優先入居を実施した。	出会い・ふれあい企業対抗運動会に加え、新たに個人参加型の文化系イベントを開催し、出会いの場の充実を図るとともに、結婚相談所の周知広報、利用促進に努める。また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。	KPIについては、結婚への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。	A
基準値	目標値(H31)	単位																	
—	90	%																	
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																	
91.9	102.1%	a																	

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27) 84.1</td> <td>85</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H27) 84.1	85	%	妊娠出産について満足している者の割合  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85.9</td> <td>101.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	85.9	101.1%	a	KPIの進捗については、85.9%と目標値を上回る数値となっており、順調に推移している。 28年度までに母子保健支援員の配置、母子保健サポーターの活動開始など子育て世代包括支援センターの体制を整え、その後、ノウハウも蓄積してきており、母子保健に関する他の事業と併せて、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいる。	子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、地域での子育て支援体制の充実を図る。 また、30年度から産婦健康診査事業や不育症治療費助成事業に取り組み、さらなる支援の充実を図る。	KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①妊娠・出産の当事者の支援に加え、産みやすい職場環境づくりなどにも配慮していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H27) 84.1	85	%																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
85.9	101.1%	a																	
15	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ① 子育て支援施設の整備・充実	保育所等の待機児童数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 47</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26) 47	0	人	実績値 (H29) 252 対目標値 -436.2% 評価 (H29) c	KPIの進捗については、鹿児島市保育所等整備計画に基づく新設保育所等の整備により待機児童解消に努めたが、保育需要の増加等の理由により待機児童数が前年度を大きく上回る結果となったことから、あまり達成されていない。 29年度の取組状況としては、待機児童の早期解消を図るため、待機児童や入所申込状況を分析の上、保育所等整備計画を改定し、新たに平成30・31年度において760人分の保育所等の整備を図ることとした。 また、親子つどいの広場やすこやか交流館等において実施している各種相談については、年間6,000件を超えるなど一定の成果を挙げている。	子育て支援施設の整備・充実については、保育所等整備計画の改定により、保育需要の高い地域を重点に保育所等の整備を進めるほか、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の確保など、早期の待機児童解消に向けてハード・ソフトの両面から積極的に取組を進めていく。 また、保育士等の処遇改善については29年度から職員の経験年数や技能等を踏まえ月額5千円から4万円の賃金改善等に取り組んでおり、今後も国の動向を注視して対応していく。 そのほか、地域の子育て支援機能の充実に向け、親子つどいの広場の運営など、各種取組を引き続き進めていく。	KPIについては、保育需要の増加等により、子育て支援施設の整備・充実に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①保育士の待遇向上や潜在保育士の掘り起こしのための環境整備や、②父親の育休取得促進など社会全体での子育てに対する意識向上への働きかけとともに、③認可外保育施設に関する利用希望者への情報提供に努めるべきである。	B					
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26) 47	0	人																	
16	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ② 放課後における児童の健全育成	児童クラブの待機児童数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 171</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26) 171	0	人	実績値 (H29) 229 対目標値 -33.9% 評価 (H29) c	KPIの進捗については、あまり達成されていない。なお、27年度から対象児童が小学6年生までに拡大されたことから、基準値(低学年児童の待機児童数)と比較すると実績値が下回っているが、施設整備等への取り組みにより、待機児童数は前年度の298人(低学年:135人、高学年:163人)から229人(低学年:103人、高学年:126人)に減少した。 29年度の取組状況としては、児童クラブの計画的な設置を進めるとともに、支援員等の確保等が課題であることから、支援員の賃金の増額などを行った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、新たに10校で放課後子ども教室を開設した。	児童クラブについては、現在の待機児童の状況や就学児童数の見込み等から今後の利用希望児童数を分析し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間による設置など計画的かつ積極的に整備を進める。 また、30年度は補助員の賃金の増額を行ったところであり、今後も処遇改善に努めるとともに、放課後児童支援員資格取得の促進や、児童の育成支援に必要な研修の実施に積極的に取り組む。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、放課後子ども教室を整備していく。	KPIについては、対象学年の拡大により、放課後における児童の健全育成に向けて、あまり達成されていない。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①必要な校区に児童クラブを整備するとともに、②支援員の育成・確保に努めていただきたい。	A					
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26) 171	0	人																	

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
17	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実  ③子育て世帯への経済的支援  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25)</td> <td>19</td> <td>20 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H25)	19	20 %	出生数に占める第3子以降の割合  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.5 *</td> <td>50.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	19.5 *	50.0%	a	KPIの進捗については、対目標50%と前年度(対目標10%)を上回り、順調に推移している。29年度の取組状況としては、多子世帯への助成や就学・通学の援助など、経済的負担軽減を実施するとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。	今後も引き続き、経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。また、県が平成30年10月から住民税非課税世帯の未就学児を対象に、医療機関等における窓口負担をゼロにする制度を創設することに伴い、本市も同様の制度を創設する。	KPIについては、子育て世帯への経済的支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①住宅の整備も含め、多子世帯への多面的な支援に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H25)	19	20 %																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
19.5 *	50.0%	a																	
18	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>472</td> <td>1,500 人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26)	472	1,500 人 (5年間)	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,282</td> <td>85.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	1,282	85.5%	a	KPIの進捗については、対目標85.5%と順調に推移している。29年度の取組状況としては、引き続き、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。また、イクボス推進会議を開催し、鹿児島市イクボス推進同盟を設立するとともに、ワーク・ライフ・バランスの先進事例や他企業等の取組に関する情報の共有を行った。	引き続き、男女共同参画情報誌の発行や労働局など関係機関と連携したセミナーの開催など、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図るとともに、アドバイザーの派遣による具体的な取組支援等に努める。30年度に市内事業所を対象とした労働基本調査を実施することから、各事業所におけるワーク・ライフ・バランスへの取組状況等についても調査を行う。また、鹿児島市イクボス推進同盟の参加企業・団体の増加を図るとともに、イクボス推進会議を開催する。	KPIについては、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①若年層は <u>もちろんのこと、経営者等に直接働きかけるとともに、②イクボス推進同盟の加入による企業のメリットを広く周知する取組を検討していただきたい。</u>	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26)	472	1,500 人 (5年間)																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
1,282	85.5%	a																	

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
19	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ①食の都づくり <table border="1" data-bbox="492 512 1086 653"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>4</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	—	4	件 (5年間)	民間主体の新たな食のイベント数 <table border="1" data-bbox="789 512 1086 653"> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>50.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	2	50.0%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。29年度の取組状況としては、食品関連事業者の育成支援について、新商品開発に対する補助金や商談会に関するセミナーの開催等により、商品開発や販路開拓等が促進された。また、民間団体等が実施する“食”のイベント(2事業)に対して引き続き支援を行い、“食の都”づくりや、まちなかのにぎわい創出を促進した。	食品関連事業者の育成支援については引き続き取り組み、新商品開発等を促進していく。食のイベントの拡充・促進については、現在選定しているイベントに対し引き続き支援を行うとともに、新たな食のイベントの拡充を図ることで、まちなかのにぎわい創出を促進する。	KPIについては、食の都づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①イベント来場者がどこから来たかなど属性の把握・分析や、②より鹿児島の食をアピールできるイベントとなるよう検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
—	4	件 (5年間)																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
2	50.0%	a																	
20	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ②歴史、自然等を生かした観光の振興 <table border="1" data-bbox="492 905 1086 1045"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 950</td> <td>1,050</td> <td>万人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26) 950	1,050	万人	入込観光客数 <table border="1" data-bbox="789 905 1086 1045"> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> <tr> <td>986.5</td> <td>36.5%</td> <td>c</td> </tr> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	986.5	36.5%	c	KPIの進捗については、基準値を36.5万人上回るものの、対目標値36.5%であり、あまり達成されていない。29年度の取組状況としては、いずれの取組も本市の観光振興に資するものとして、順調に進捗している。特に明治維新150年や大河ドラマに関連する事業については、大河ドラマ館の設置やイベントを行い、機運醸成を図った。3回目開催の「鹿児島マラソン」では、本市の魅力を全国に発信でき、宿泊観光客の増や経済波及効果が得られるなど、交流人口の拡大や地域経済の活性化に効果をもたらした。	引き続き、各取組を着実に推進するとともに、県や他自治体と関係ある取組は連携を深め、行政区域を超えた広域的な観光ルートの検討や観光客の誘致促進を図ることも念頭に、本市への更なる誘客を図る。	KPIについては、歴史、自然等を生かした観光の振興に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①明治維新150周年後を見据えて、広域的な観光ルートをはじめ、新たな事業や長期的な展望を持った対応を検討すべきである。	B
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26) 950	1,050	万人																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
986.5	36.5%	c																	
21	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ③花と緑の回遊空間づくり <table border="1" data-bbox="492 1318 1086 1459"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H27) 7.62</td> <td>7.77</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H27) 7.62	7.77	m <sup>2</sup>	都市公園の市民一人当たり面積 <table border="1" data-bbox="789 1318 1086 1459"> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> <tr> <td>7.78</td> <td>106.7%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	7.78	106.7%	a	KPIの進捗については、「都市公園の市民一人当たり面積」が目標値を超えており、順調に推移している。29年度の取組状況としては、いずれの取組も概ね計画通りに進捗している。	引き続き、着実な事業の推進を図る。計画、設計、工事と各段階において関係機関と連携を図りながら、計画的な事業進捗に努める。	KPIについては、花と緑の回遊空間づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H27) 7.62	7.77	m <sup>2</sup>																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
7.78	106.7%	a																	
22	3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ④潤いのある都市景観の形成 <table border="1" data-bbox="492 1724 1086 1864"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 2</td> <td>5</td> <td>地区</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26) 2	5	地区	景観形成重点地区 <table border="1" data-bbox="789 1724 1086 1864"> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>66.7%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	4	66.7%	a	KPIの進捗については、新たに2地区を指定したため、計4地区に増加しており、順調に推移している。29年度の取組状況としては、地区指定にあたり、住民等の景観への深い理解のもと、自らの基準づくりと継続的な景観まちづくり活動が望まれ、地元への働きかけ等では丁寧な説明と手続きが必要なことから、各地区では概ね計画通り、地域住民との意見交換会や協議等を進めた。	引き続き、地元との協議を重ね、協働による景観形成重点地区の指定に向けて取組を推進する。また、景観まちづくり活動団体等への支援も継続するとともに、関係部局と連携を図りながら、既指定地区における連携支援を検討するなど、潤いある都市景観の形成に努める。	KPIについては、潤いのある都市景観の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①地元住民の理解と協働が必要になることから、住民参加により一層努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26) 2	5	地区																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
4	66.7%	a																	



No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
23	3 まちの魅力を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出 ①集客力・回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>16</td> <td>万人</td> <td>15.6</td> <td>-36.4%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26)	16	万人	15.6	-36.4%	c	KPIについては、基準値を下回っており、あまり達成されていない。 路面電車観光路線は、導入連絡会議を開催し、今後実施する基本計画策定における基礎資料となる、6つの検討対象ルートの設定や各検討対象ルートの課題整理等を行った。 天文館ミリオネーションについては、27年度から29年度までで延べ約56万人の来場があり、冬の滞在型観光の振興に寄与している。 「かごりん」は、27年3月の事業開始から29年度までで延べ448,425回の利用があり、まちなかの回遊性向上などに寄与している。	路面電車観光路線については、県の動向を踏まえながら基本計画策定委員会を設置するなど基本計画策定に着手する。 天文館ミリオネーションについては、過去開催の課題等を踏まえ、冬季イベントの風物詩として定着するよう取り組んでいく。 「かごりん」については、まちなかの回遊性向上に効果があり、さらなる利用促進が図られるよう、引き続きサイクルポートの増設やPR等に努める。	KPIについては、集客力・回遊性の向上に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①路面電車観光路線新設に向けた取組の推進やかごりんの観光等利用の促進、市街地再開発、空き店舗等の再生のほか、②新たな取組を検討すべきである。 また、③イベント等によるにぎわい創出の状況の把握に努めるべきである。	B					
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
(H26)	16	万人	15.6	-36.4%	c																			
24	3 まちの魅力を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出 ②新たな都市拠点の形成	JR鹿児島駅の乗降客数 「かんまちあ」で開催されるイベント数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H24)</td> <td>121.4</td> <td>万人以上</td> <td>118.3</td> <td>-281.8%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>100</td> <td>件</td> <td>130</td> <td>130.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H24)	121.4	万人以上	118.3	-281.8%	b	-	100	件	130	130.0%	KPIの進捗については、概ね順調に推移している。 29年度の取組状況としては、鹿児島駅周辺整備については、駅前広場及び自由通路の事業認可を取得したほか、かんまちあでのイベント件数が目標値を達成するなど、順調に進捗している。 また、本港区における集客力のある施設の整備促進については、県との協議や意見交換会において、本市との連携を要請した。 さらに、中央町19・20番街区、千日町1・4番街区の再開発事業については、概ねスケジュールどおりに事業推進が図られている。	32年度に中央町19・20番街区及び千日町1・4番街区、33年度に鹿児島駅前広場の完成が見込まれることから、今後も、関係機関との協議、連携のもと、各取組の方針や計画に基づき、着実に事業を推進し、新たな都市拠点の形成を図り、まちなかのにぎわい創出につなげていく。	KPIについては、新たな都市拠点の形成に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
(H24)	121.4	万人以上	118.3	-281.8%	b																			
-	100	件	130	130.0%																				

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
25	4 ひと・まち を多彩に「つ なぐ」	(1)人口減少等を見据えた持 続可能なまちづくり  ①都市のコンパクト化と交通 ネットワークの形成  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H28)</td> <td>68.7</td> <td>71.0 %</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>16 地域</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H28)	68.7	71.0 %	(H26)	12	16 地域	「日常生活における生活利便 施設が整備されている」と感じ る市民の割合  公共交通不便地対策の実施 地域数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	—	—	b	14	50.0%	KPIの進捗について、公共交通不便地対策の 実施地域数は、目標値達成に向けて、概ね順 調に推移している。なお、「日常生活における生 活利便施設が整備されていると感じる市民の割 合」は、31年度に市民意識アンケート調査予定 である。 立地適正化計画及び公共交通ビジョンは、そ れぞれ策定・見直しを行い、推進協議会等を開 催して進捗管理を行った。 公共交通不便地対策は、小原地域、小野・伊 敷地域の2地域において新たにコミュニティバス の運行を開始したほか、常盤地域等における不 便地対策の実施に向けた検討を進めた。 これらの取組により、都市のコンパクト化と交 通ネットワークの形成に資する取組の推進が図 られた。	立地適正化計画では、届出対応等による住宅 建築や誘導施設の動向把握を行うとともに、推 進協議会等を開催しながら、計画の着実な推進 を図る。 公共交通ビジョンでは、関係事業者等と一体 となって、公共交通を軸とした交通体系を構築 するため、推進会議を開催し、施策の進捗状況 の把握や調整等を行い、同ビジョンの推進を図 る。 また、公共交通不便地対策は、残りの2地域 (常盤、平川古屋敷)において不便地対策の実 施に向けた検討を進める。	KPIについては、都市のコンパクト化と交通 ネットワークの形成に向けて、概ね達成されて いる。引き続き、現状の取組を推進すべきであ る。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																						
(H28)	68.7	71.0 %																						
(H26)	12	16 地域																						
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																						
—	—	b																						
14	50.0%																							
26	4 ひと・まち を多彩に「つ なぐ」	(1)人口減少等を見据えた持 続可能なまちづくり  ②ストックマネジメントの強化  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>5</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>20</td> <td>144 件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	—	5	件	(H26)	20	144 件 (5年間)	公共施設等総合管理計画に 基づく個別施設計画の策定・ 改定数  危険空き家の解体への助成 件数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>40.0%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>78</td> <td>54.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	2	40.0%	b	78	54.2%	KPIの進捗については、概ね順調に推移して いる。 29年度の取組状況としては、2件の個別施設 計画の策定を行ったほか、空き家対策、良質 な住宅ストックともに、新たな専門家派遣事業 を開始するとともに、空き家対策計画を策定す るなど、取組の充実を図った。また、良質な住宅 ストックの形成では、計画に基づいた既存市営 住宅の建替、改善を実施した。 団地再生では、団地再生推進庁内検討会を 設置・開催し、団地再生の手法や具体策につ いて検討するとともに、先進事例の調査を行い、 団地再生計画の策定(32年度予定)に向けた進 め方を決定した。	公共施設等の計画的な更新・長寿命化につ いては、引き続き個別施設計画の策定に取り組 むとともに、空き家対策の強化については、空 き家対策計画に基づき、目標達成に取り組 む。また、29年度に見直した「公営住宅等長寿 命化計画」に基づき、建替や改善を実施するほ か、民間住宅については、引き続き補助等の取 組みを進めることで、良質なストック形成の促進 を図る。 団地再生の推進については、対象の住宅団 地(29団地)において基礎調査等を実施すると ともに、地域住民等とのワークショップや庁内検 討会により具体策の検討を行い、団地再生計 画を策定(32年度予定)する。	KPIについては、ストックマネジメントの強化に 向けて、概ね達成されている。引き続き、現状 の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①新たに若 年層が居住したくなるような団地再生計画を、 住民や事業者と協働して策定していただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																						
—	5	件																						
(H26)	20	144 件 (5年間)																						
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																						
2	40.0%	b																						
78	54.2%																							
27	4 ひと・まち を多彩に「つ なぐ」	(2)互いに支え合う温もりの ある地域社会の形成  ①地域コミュニティの形成  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>3</td> <td>79 団体</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26)	3	79 団体	地域コミュニティ協議会数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>94.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	75	94.7%	a	KPIの進捗については、29年度に新たに17団 体が設立され、28年度までに設立された58団体 と合わせて75団体となり、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、既設の協議会の プラン策定等の活動を支援するとともに、市内 全域での順次設立を支援している。	30年度までの市内全域での協議会設立に向 けて取り組むとともに、協議会設立後は、まちづ くりの指針となる地域コミュニティプランの策定 及びプランに基づく活動を積極的に支援する。	KPIについては、地域コミュニティの形成に向 けて、十分に達成されている。引き続き、現状 の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①地域コミュ ニティ協議会に現役世代が関わり、若年層も参 加できるような工夫により、持続可能な組織づ くりを促進していただきたい。	A					
基準値	目標値 (H31)	単位																						
(H26)	3	79 団体																						
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																						
75	94.7%	a																						

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成  ②協働によるまちづくり	市内のNPO法人数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 396</td> <td>420</td> <td>団体</td> <td>393</td> <td>-12.5%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26) 396	420	団体	393	-12.5%	c	KPIの進捗については、基準値からの若干減であり、あまり達成されていない。 全国的にNPO法人数の増加は鈍化傾向にあり、23年度は約2700法人増加したが、28年度は約600法人、29年度は約300法人の増加にとどまっている。 鹿児島市においても同様で、29年度は15法人が設立、19法人が解散、1法人が他市へ転出している。 29年度の取組状況としては、市民活動団体の組織運営・企画立案のノウハウの習得の支援や、NPO・企業・行政などの多様な主体の連携の促進などの取組を進めている。	今後とも、市民活動団体の育成支援や多様な主体による連携促進を図るとともに、平成30年度は、NPO法人に関する実態調査を行い、活動が活発な法人と停滞している法人の要因等を把握・整理し、支援の在り方や必要な施策の検討を行う。	KPIについては、協働によるまちづくりに向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①NPO法人に関する実態調査を踏まえ、KPIの見直しや②持続的な活動のサポートについて検討すべきである。	B					
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
(H26) 396	420	団体	393	-12.5%	c																			
29	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3)移住の促進	本市への移住相談件数  本市の関連施策を通じた移住者数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>100</td> <td>件/年</td> <td>73</td> <td>73.0%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H28) 17</td> <td>50</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>36.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	—	100	件/年	73	73.0%	a	(H28) 17	50	人	18	36.0%	KPIの進捗については、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、引き続き、移住PR用動画及びパンフレットを活用するなどして、本市の魅力や生活環境の情報を発信するとともに、首都圏の他、関西圏での移住関連イベントに参加するなど相談体制の充実を図り、本市への移住促進に向けた取組を推進した。また、連携中枢都市圏4市で連携し、圏域への移住促進を図った。	30年度から新たに設置された移住推進室のもと、移住希望者に対し、引き続き、移住支援策や本市の生活環境等の情報提供を行うとともに、首都圏等での移住セミナー等に参加するほか、移住後のフォローアップなどに対応することで、相談・受入体制の更なる充実を図り、幅広い世代の本市への円滑な移住を促進する。	KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①連携中枢都市圏として取り組むとともに、②移住者の協力による情報発信が効果的と考えられることから、移住後のフォローアップに努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
—	100	件/年	73	73.0%	a																			
(H28) 17	50	人	18	36.0%																				
30	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携  ①国際交流の推進	国際交流事業への参加者数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 11,523</td> <td>12,700</td> <td>人</td> <td>5,668</td> <td>-497.5%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26) 11,523	12,700	人	5,668	-497.5%	c	KPIの進捗については、あまり達成されていない。 29年度は、台風接近のためかごしまアジア青少年芸術祭の一部を中止して開催したことから、実績値が大幅に減少(5,668人)した。 基準年の26年度と比較して、市国際交流財団の事業実績が1,799人から2,667人と約1.5倍と大きく伸びており、市民主体の幅広い国際交流活動の担い手のすそ野が広がり、市民レベルの交流の促進が着実に図られている。	引き続き、姉妹友好都市のほか、著しい成長を遂げているアジア諸国をはじめとする多くの国の都市との多彩な交流の推進、次代を担う国際性豊かな人材の育成、市民意識の醸成に向けた取組等をさらに推進する。	KPIについては、荒天によるイベントの一部中止により、国際交流の推進に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 施策の推進にあたっては、①多文化共生の推進や②子どもたちの国際交流の継続した取組に努めるべきである。	B					
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
(H26) 11,523	12,700	人	5,668	-497.5%	c																			
31	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携  ②国内の都市との多様な交流・連携	都市間連携に係る実施事業数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 19</td> <td>25</td> <td>件</td> <td>22</td> <td>50.0%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	(H26) 19	25	件	22	50.0%	b	KPIの進捗については、連携事業数も増えており、概ね順調に推移している。 29年度の取組状況としては、九州縦軸の4市連携の観光プロモーションや松本市や萩市等との交流事業などを継続して実施するとともに、渋谷区と「観光・文化交流協定」を締結した。	各都市と鹿児島市の個性や共通点などを把握したうえで新たな連携事業の創出を検討し、具体的な予算化を目指す。 また、民間企業の取組についても情報収集を行い、官民連携した取組についても検討を行う。	KPIについては、国内の都市との多様な交流・連携に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①官民連携した取組を進めるとともに、②連携のメリットが市民にもっと伝わるような広報活動に努めていただきたい。	A					
基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																			
(H26) 19	25	件	22	50.0%	b																			

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価																														
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)																																
32	1 世界基準の観光地域づくり	(1)世界に誇りうる地域資源の活用、(2)外国人観光客の誘致・受入体制の整備  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 12</td> <td>26</td> <td>万人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	(H26) 12	26	万人	外国人宿泊観光客数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.3</td> <td>166.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	35.3	166.4%	a	KPIの進捗については、目標値を上回っており、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、世界文化遺産については、マップの作成や、おもてなし講座の開催、アプリの開発など、受入体制の充実が図られている。また、ジオパークについては、世界ジオパーク認定に向け、霧島ジオパーク等と協議を進めるとともに、国際交流・国際貢献の取り組みを進めた。 コンベンション協会については、DMO設立に向けて組織・人員体制の充実を支援した。また、外国人観光客の誘致・受入体制の整備については、市場に応じた効果的なプロモーション等を行うとともに、外国人観光客のニーズに応じた受入体制の整備を行っている。	世界文化遺産やジオパークといった世界に誇れる素材に磨きをかけるとともに、戦略的なプロモーションを引き続き実施していく。 観光プロモーションについては、さらに広域的に関係自治体との連携も含めた取組を進めるとともに、外国人観光客の受入体制の整備については、引き続き、民間の取組に支援を行うなど、効果的に取り組む。	KPIについては、世界基準の観光地域づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①外国人観光客のニーズや属性等の把握・分析に努めていただきたい。	A																		
基準値	目標値(H31)	単位																																			
(H26) 12	26	万人																																			
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																																			
35.3	166.4%	a																																			
33	2 健“高”医“良”都市の創造	(1)健康と生きがいを実感できる市民生活の提供  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 8</td> <td>40</td> <td>事業者(5年間)</td> </tr> <tr> <td>(H26) 51.7</td> <td>55.5</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	(H26) 8	40	事業者(5年間)	(H26) 51.7	55.5	%	新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41</td> <td>102.5%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>55.4</td> <td>97.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 51.7</td> <td>55.5</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.4</td> <td>97.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	41	102.5%	a	55.4	97.4%		基準値	目標値(H31)	単位	(H26) 51.7	55.5	%	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	55.4	97.4%		KPIの進捗については、いずれの指標とも、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、健康寿命延伸に寄与するヘルスケアビジネス創出の促進をはじめ、「生涯活躍のまち」を形成する事業主体の募集・選定や、高齢者の相談・支援体制の構築等のほか、他の医療機関との連携や地域で必要な医療を確保するための医療機関相互の機能分化などを行ったことなどにより、市立病院が地域医療支援病院として承認されるなど、着実に推進している。	30年度は、健康寿命延伸に寄与するヘルスケアビジネス創出を図るため、これまでの取組に加え、「ヘルスケアニーズの探求・深堀」、「ビジネスプランの検討」、「専門家による事業化支援」を一体的に組み込んだ支援プログラムを実施する。なお、関係するKPIについては目標値を達成していることから、目標値の上方修正を検討する。 「生涯活躍のまち」形成に向け、29年度に選定された事業主体と喜入地域における移住を推進するとともに、新たな事業主体を引き続き募集・選定する。 地域包括ケアの中核的役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの一体的な提供体制の充実・強化を図る。 医療機関への訪問等の取組を充実し、地域医療支援病院として、地域の医療機関との医療連携や相互の機能分化を推進していく。	KPIについては、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①喜入地域がモデルとなり、生涯活躍のまちの形成が他地域にも波及するよう、同地域をサポートしていただきたい。 また、②KPI「新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数」については、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。	A
基準値	目標値(H31)	単位																																			
(H26) 8	40	事業者(5年間)																																			
(H26) 51.7	55.5	%																																			
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																																			
41	102.5%	a																																			
55.4	97.4%																																				
基準値	目標値(H31)	単位																																			
(H26) 51.7	55.5	%																																			
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																																			
55.4	97.4%																																				
34	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(1)大学との連携強化  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値(H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 61.7</td> <td>69.7</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>18</td> <td>件(3年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値(H31)	単位	(H26) 61.7	69.7	%	—	18	件(3年間)	市内大学生の県内就職率  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値(H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60.7</td> <td>-12.5%</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>105.6%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 市内6大学との新規連携事業・取組数	実績値(H29)	対目標値	評価(H29)	60.7	-12.5%	b	19	105.6%		KPIの進捗については、概ね順調に推移しているものの、市内大学生の県内就職率については、社会経済情勢や雇用環境、他県出身の卒業生の地元回帰など諸要因もあり、基準値を下回った。 29年度は、市内6大学と本市が一堂に会する連携ネットワーク会議を設置するとともに、シンポジウムの開催などを通して、連携事業の拡充や学生のまちづくりへの関心をさらに高める取組を実施した。	30年度は、市内大学の学生を対象に、長期間の課題解決型インターンシップとして「まちづくり“未来の担い手”育成事業」を実施するほか、若者が活躍できる地域づくりをテーマに「若者未来会議(仮称)」を開催し、若者の発想や行動力をまちづくりに生かすとともに、人材育成につなげる。加えて、各大学との連携事業・取組をさらに充実・深化させる。 また、KPI「市内6大学との新規連携事業・取組数」の件数が伸びていることから、目標値の上方修正を検討する。	KPIについては、大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 また、①KPI「市内6大学との新規連携事業・取組数」については、実績値が目標値を上回っているため、目標値の上方修正を検討していただきたい。	A												
基準値	目標値(H31)	単位																																			
(H26) 61.7	69.7	%																																			
—	18	件(3年間)																																			
実績値(H29)	対目標値	評価(H29)																																			
60.7	-12.5%	b																																			
19	105.6%																																				

No.	基本目標等	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		左記に対する 検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等(平成29年度まで)	今後の方向性(考え方)														
35	3 大学との 連携強化とふるさと教育の 推進	(2)ふるさと教育の推進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 90.6</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	(H26) 90.6	100	%	郷土教育に係る体験活動の 実施率  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	100	100.0%	a	KPIの進捗については、全ての小・中学校で郷土教育に係る体験活動を実施しており、順調に推移している。 29年度の取組状況としては、「かごしま創志塾」では、卒業生の活躍の場づくりとして、海外派遣事業参加経験者である一期生、二期生を講師として招き、体験発表・ディスカッションの場を設けた。また、今後の成長に役立つ学習機会に関する情報提供や過年度卒業生との交流の機会を作った。職場体験活動では、全ての中学校で実施しており、生徒の希望に沿うよう、受入企業等の開拓に努めた。	今後とも、郷土教育に係る体験活動を推奨すると共に、各学校において確実に実施するよう指導を継続する。また、「かごしま創志塾」の実施にあたっては、必要に応じてカリキュラムの見直しを行うほか、同窓会の実施や卒業後のさらなる成長に役立つ学習機会に関する情報提供等、卒業生相互のネットワーク構築と活躍の場づくりに取り組む。職場体験活動では、これまで以上に働くことの意義や喜びなどを学べる活動内容を充実させるよう指導を継続する。	KPIについては、ふるさと教育の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①引き続き、すべての市立小中学校でふるさと教育を実施していただくとともに、②「かごしま創志塾」の卒業生への継続したフォローアップとネットワーク構築等に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
(H26) 90.6	100	%																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
100	100.0%	a																	
36	4 連携中枢 都市圏の形成	(1)圏域全体の経済成長の けん引、(2)高次の都市機能 の集積・強化、(3)圏域全体 の生活関連機能サービスの 向上  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (H31)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>25</td> <td>事業 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (H31)	単位	—	25	事業 (5年間)	連携事業数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (H29)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>84.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)	21	84.0%	a	計画初年度の29年度は、ビジョンに掲載した24事業のうち21事業を実施しており、KPIとしては順調に推移している。 また、未実施事業についても、引き続き事業実施に向けた検討等を行うとともに、4市の幹事会やビジョン懇談会を開催するなど、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進行管理を図った。	引き続き、連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、未実施事業やビジョンに掲載していない新たな連携事業については、実施に向けて積極的に検討・協議を行うなど、連携中枢都市圏の着実な推進を図る。	KPIについては、連携中枢都市圏の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①市民の利便性の向上と連携による効果が高い事業の実施に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (H31)	単位																	
—	25	事業 (5年間)																	
実績値 (H29)	対目標値	評価 (H29)																	
21	84.0%	a																	